

System Advantages for You

BOM for Windows Ver.8.0

製品機能紹介資料

SR1対応版

2024年3月

セイ・テクノロジーズ株式会社



会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するための
メッセージ「**System Advantages for You**」を企業ミッションとしております。

会社名 セイ・テクノロジーズ株式会社 (SAY Technologies, Inc.)

本社所在地 〒112-0005
東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階

資本金 / 設立 9,000万円 / 2001年3月



主要役員 代表取締役社長 三瓶 千里



事業内容 サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供

- ・ 自立分散型サーバー監視ソフト「BOM for Windows」の開発・販売
- ・ 高機能ジョブスケジューラー「Job Director」の開発・販売
- ・ サーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance」の開発・販売
- ・ その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発



Agenda

01

BOM for Windows とは

今までのBOMの歩みと4つの特長をご紹介します

02

BOM8.0SR1強化ポイント

2024年3月リリースのSR1の強化ポイントをご紹介します

03

機能紹介

4つの機能で構成されるBOMの基本機能をご紹介します

04

オプション製品

BOMの機能を拡張させるオプションをご紹介します

05

導入について

導入目的や予算などにあわせて、2つのライセンス体系から選択可能

06

活用例

他製品との連携や利用シーンにおけるBOMの活用例の一部をご紹介します

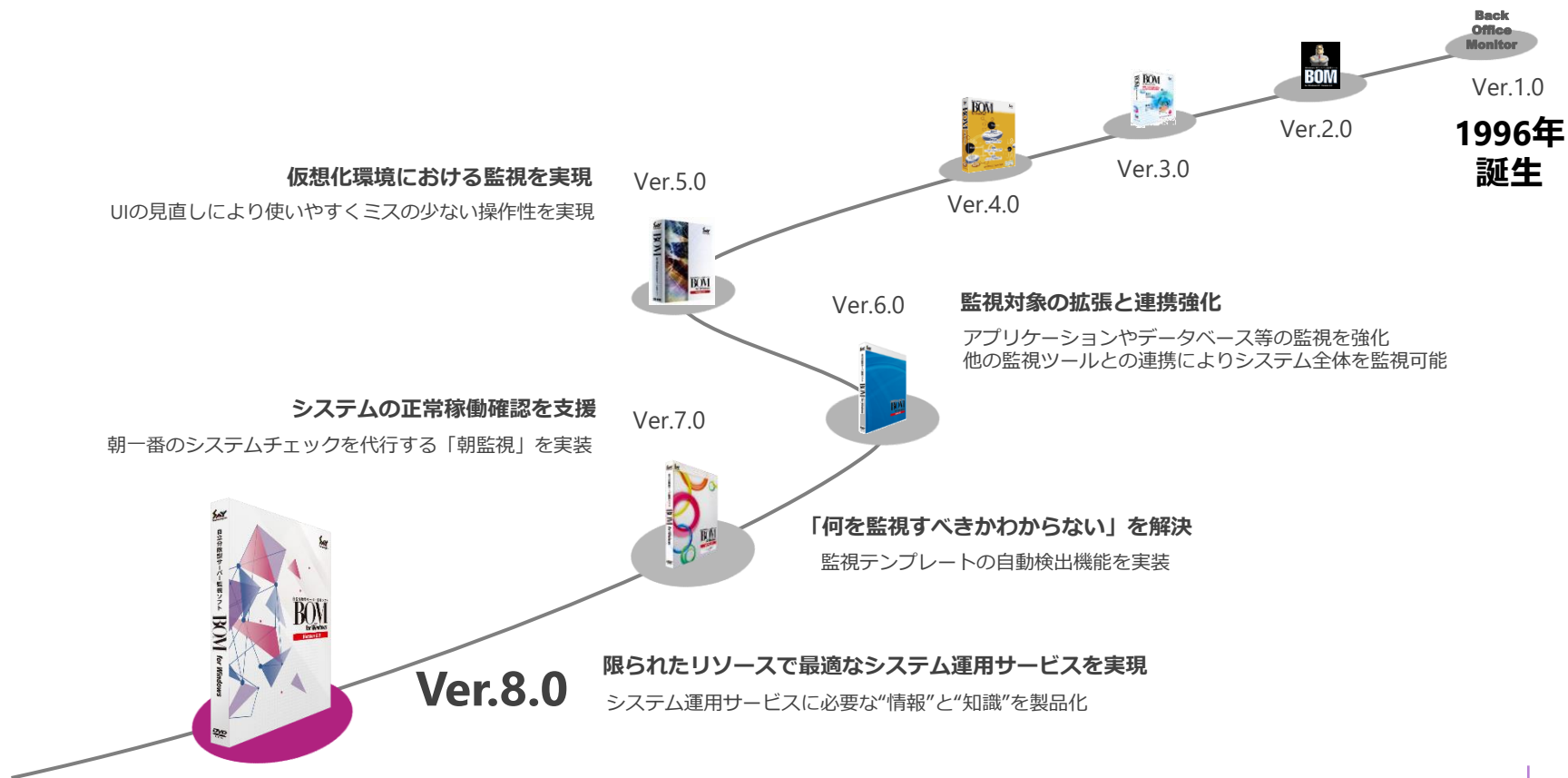
01. BOM for Windowsとは

自立分散型サーバー監視ソフト

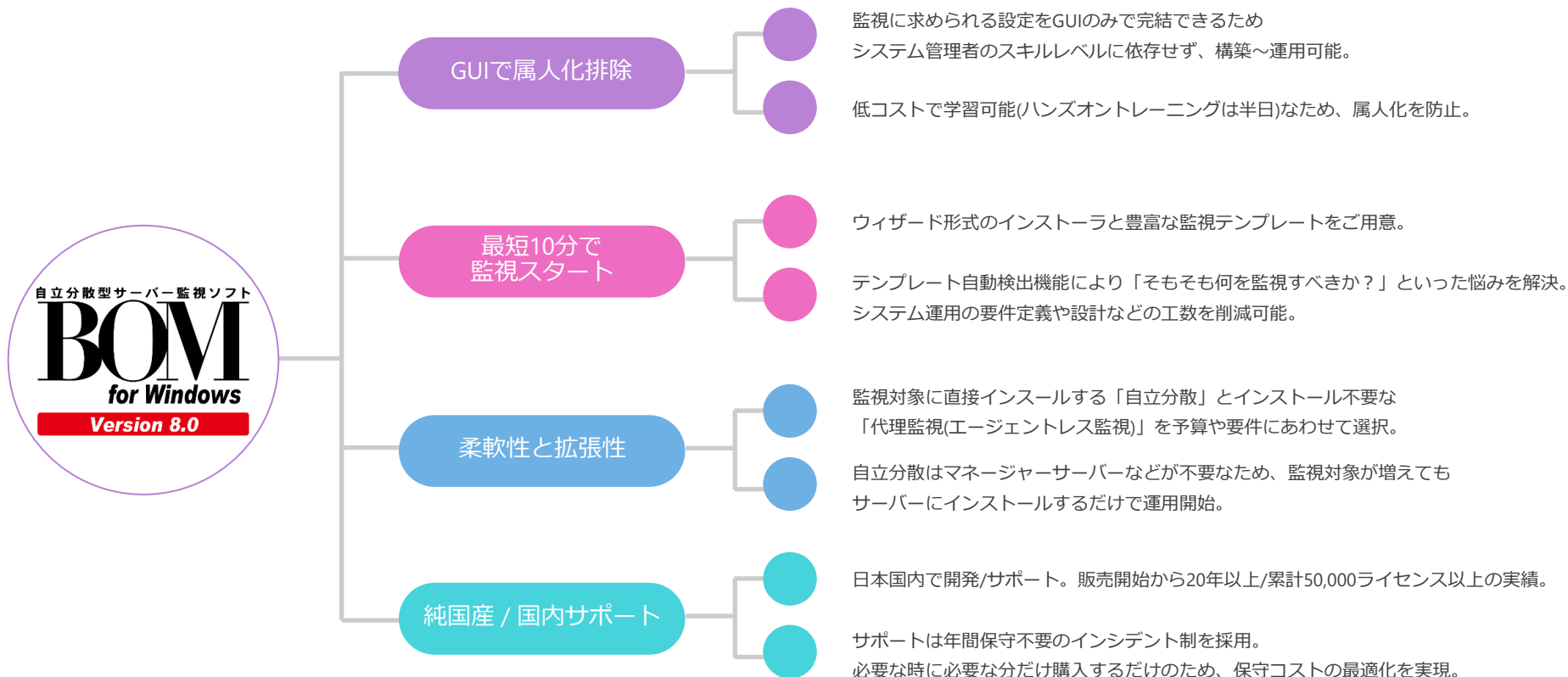
BOM
for Windows

Version 8.0

監視ソフトウェア「BOM」の歩み



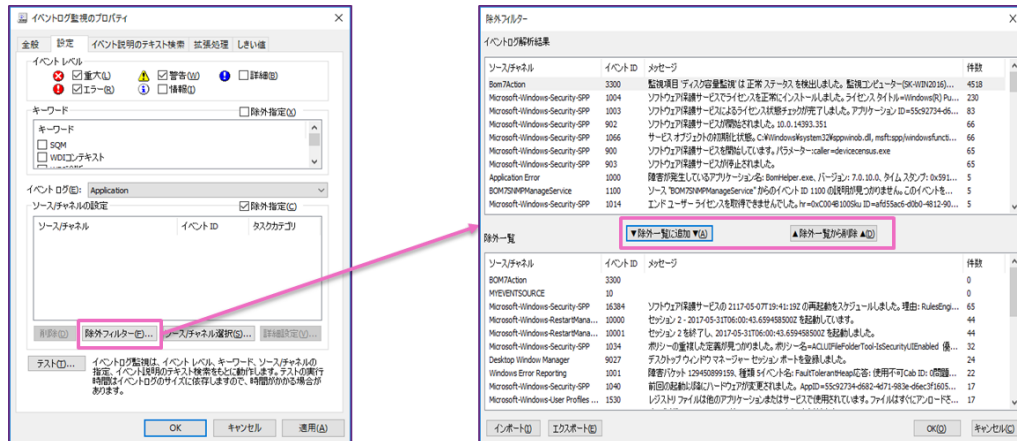
BOMの特長



こだわり抜いたGUIで属人化排除

GUIのみで完結でき、システム管理者のスキルレベルに依存しないため、属人化を排除

工数のかかるWindowsイベントログの監視についても
一度検知したイベントログは、履歴一覧からGUIで除外可能

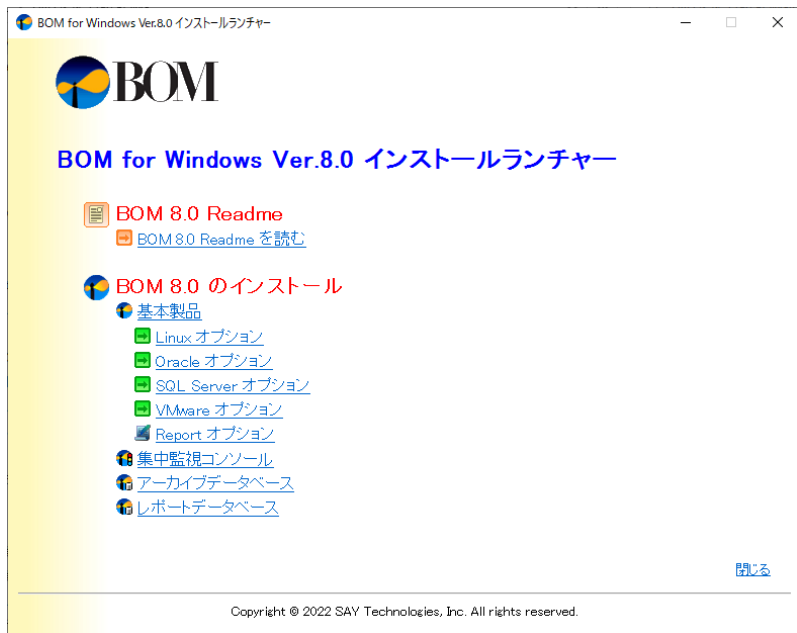


監視結果だけでなく設定画面もGUI設定

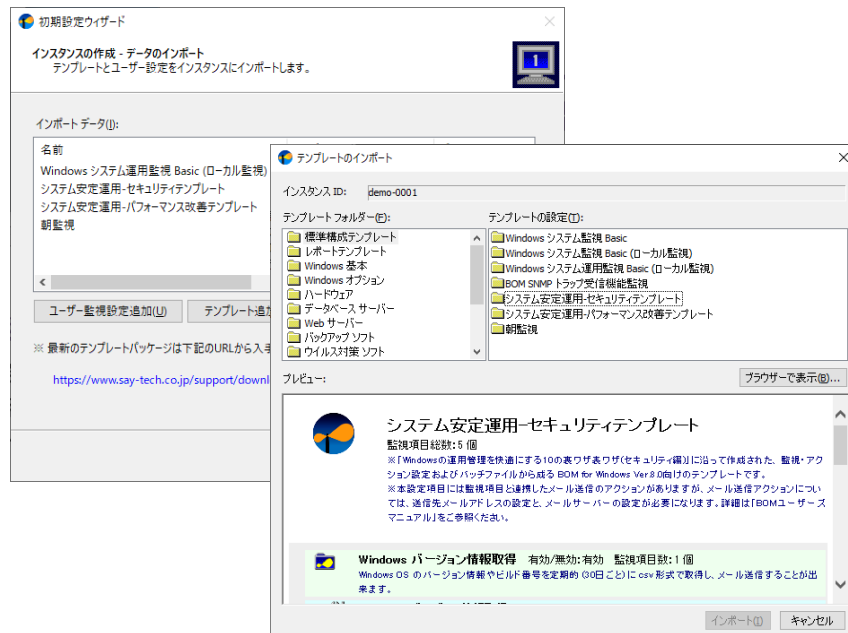


クリックのみ！最短10分で監視スタート

ウィザード形式のインストーラと豊富に用意された監視テンプレートを利用することで最短10分で監視をスタート。



利用したい機能を選択してクリックしていくのみ

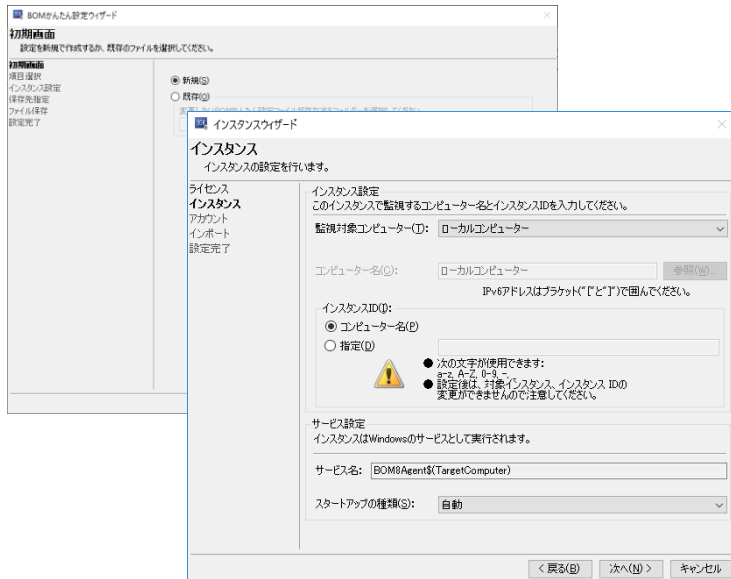


テンプレート自動検出機能により
「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決

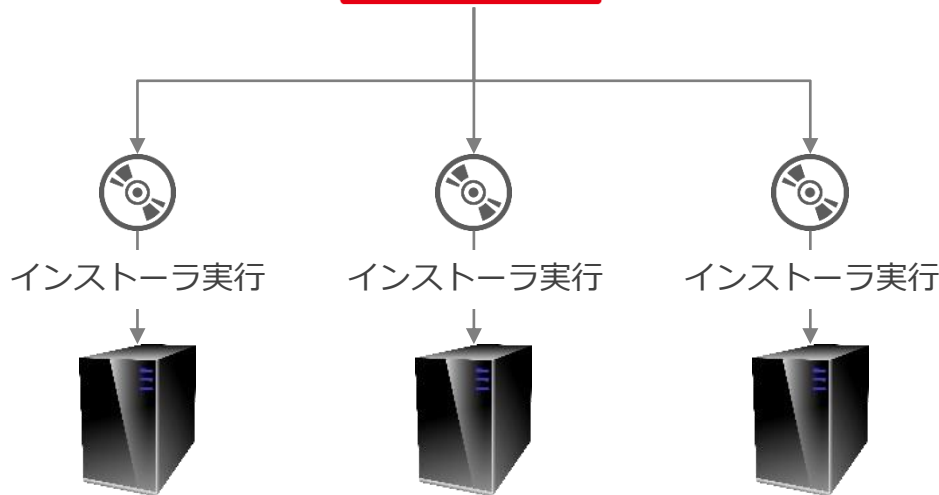
専用インストーラで誰でもセットアップ可能

あらかじめ設定したBOMの設定情報ごとインストールできる専用インストーラを作成。対象のサーバー上でインストーラを実行するだけで、インストールから設定、ライセンス認証まで完了。

かんたん設定ツール画面



個別のインストーラ作成

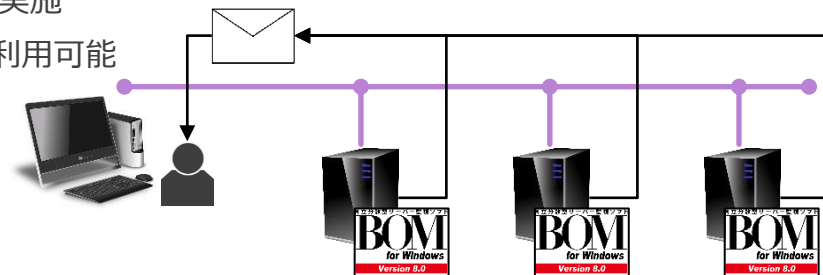


柔軟性と拡張性 - 自立分散と代理監視

自立分散

監視対象サーバーにBOMを直接導入、自己の体調管理(監視)を実施
監視専用機器、データベースは不要でサーバー1台の監視から利用可能
※分散したBOMの管理画面は、1ヶ所に統合することが可能

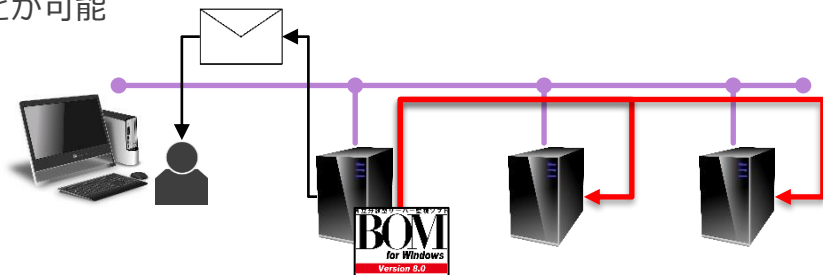
- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 3ライセンス
合計 3ライセンス



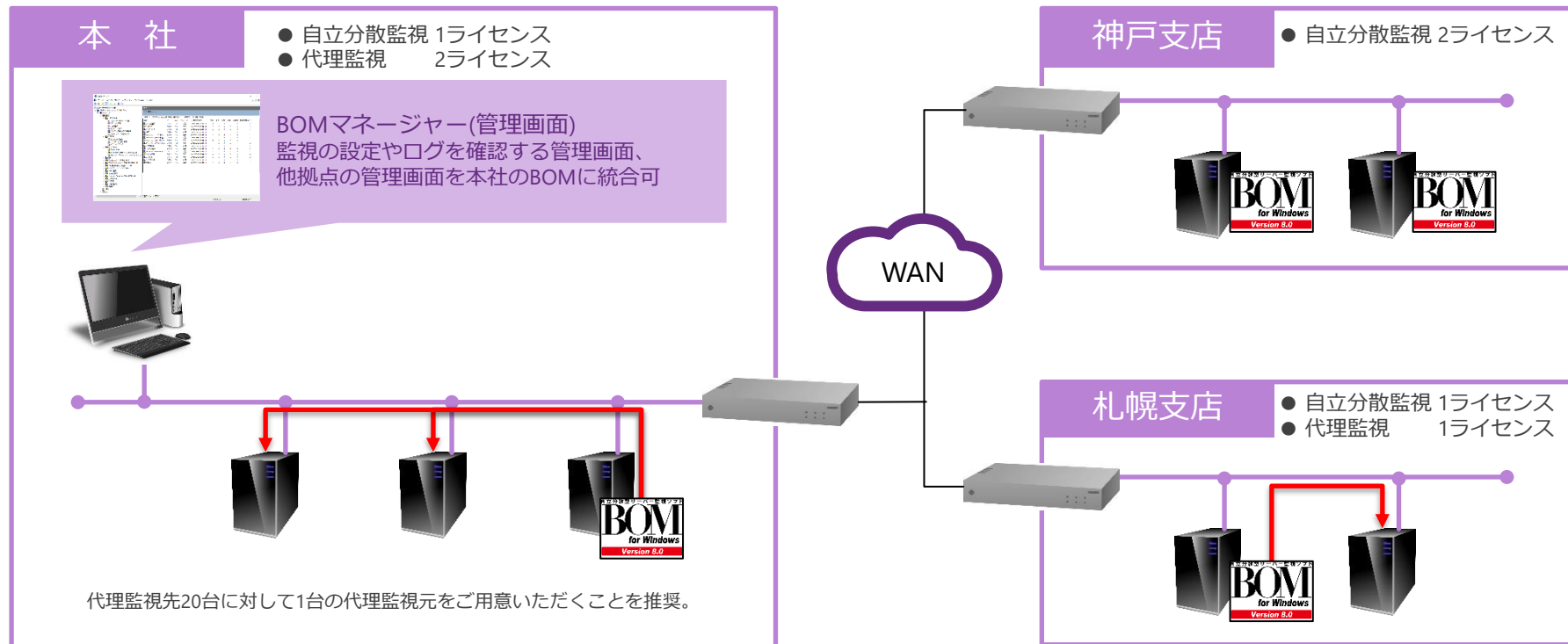
代理監視(エージェントレス監視)

監視対象サーバーにBOMを導入することなく、監視を行うことが可能
自立分散型と機能に差異はなく、1台 対 N台の監視構成が可能
※BOMの管理画面は監視元サーバーのみに存在

- 右図の必要ライセンス数 --
- 自立分散監視 1ライセンス
 - 代理監視 2ライセンス
合計 3ライセンス



柔軟性と拡張性 - ネットワーク構成例

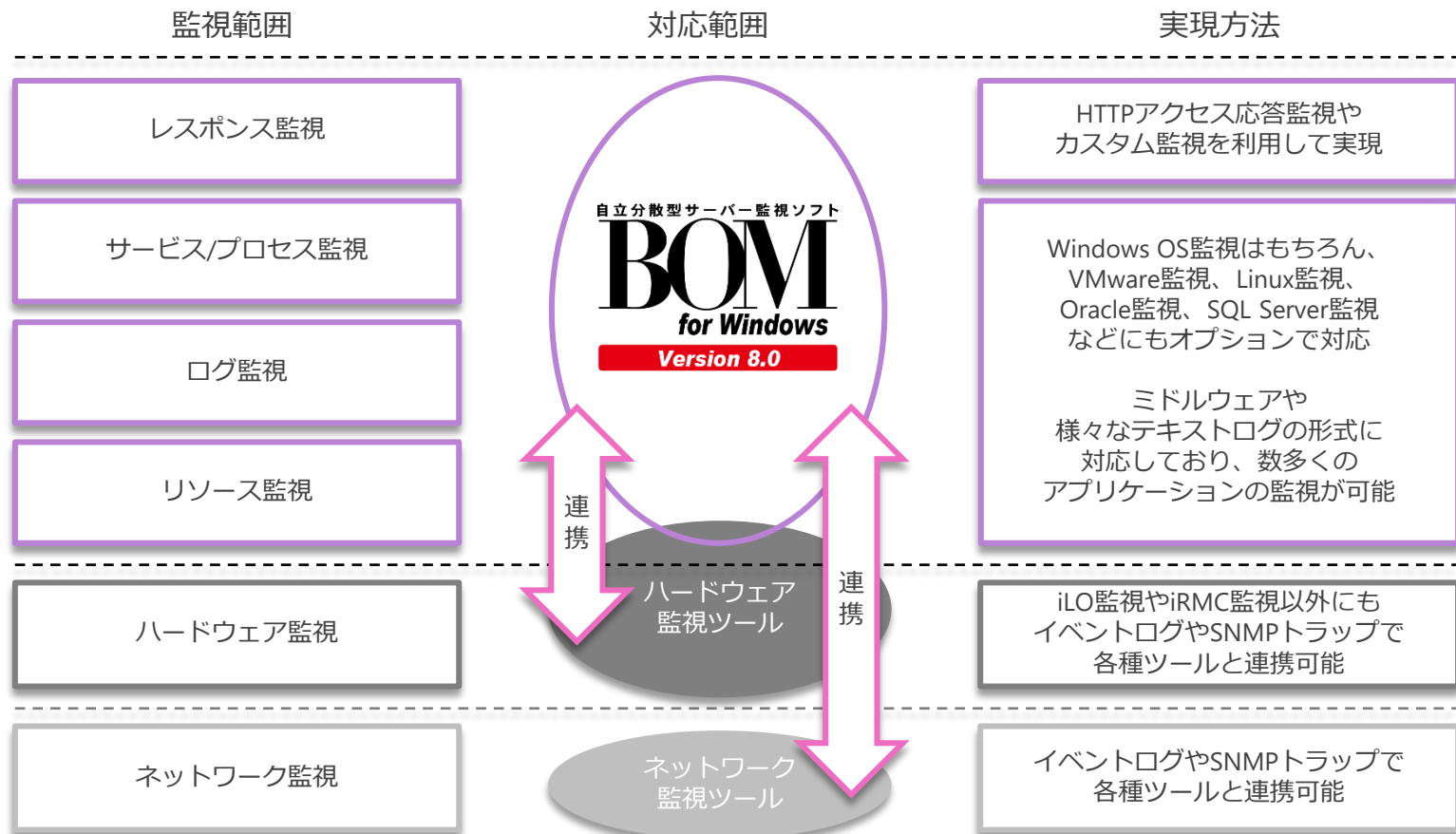


(黒 線) 拠点間の通信は、20080番ポート使用。

(赤 線) 監視元サーバーと監視先サーバーの通信は、445番ポートと右記のTCP動的を使用。・リモートサービス管理(RPC-EPMAP)・リモートイベントのログ管理(RPC)

※FAQサイト内の「[代理監視に関する参考情報](#)」をあわせてご確認ください。

柔軟性と拡張性 - 幅広い監視範囲



02. BOM 8.0 SR1 強化ポイント

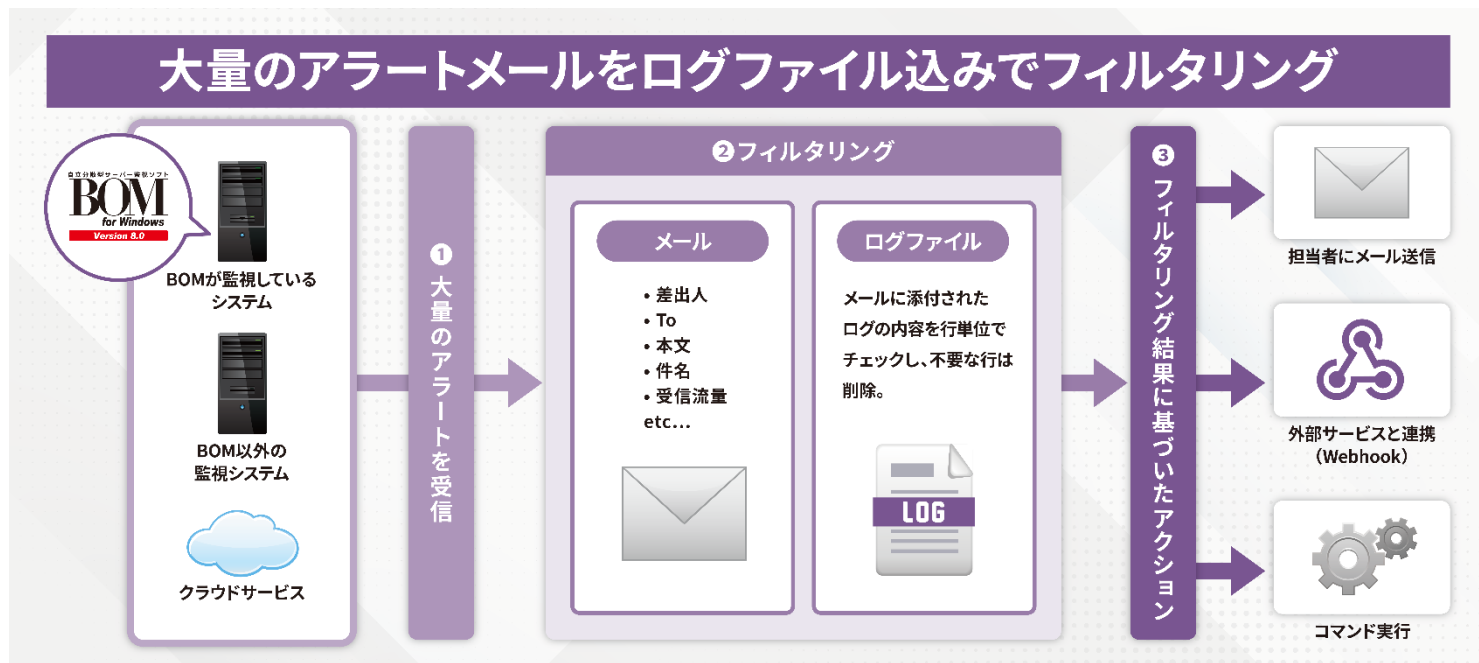
自立分散型サーバー監視ソフト

BOM
for Windows

Version 8.0

アラートフィルターの提供開始

BOMを始めとする監視ツールからの大量のアラートをログファイル込みでフィルタリングするアラートフィルターを新たに提供開始。

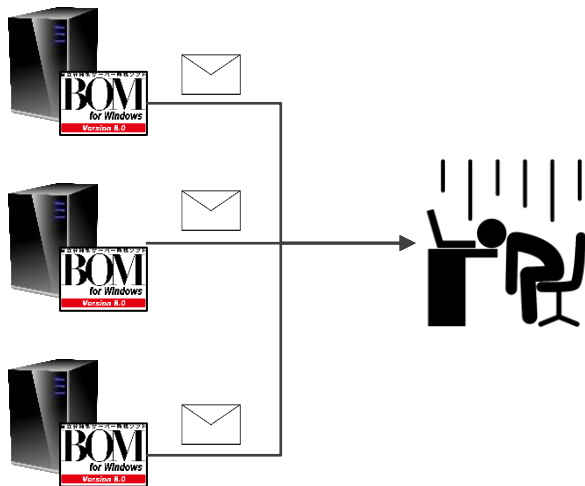


※ アラートフィルターのご利用には別途、利用登録が必要です。

アラートフィルター活用事例：朝監視リスト

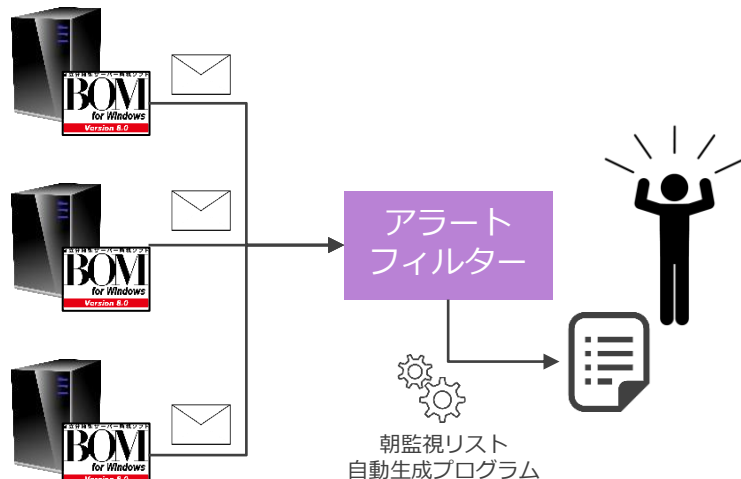
メール送信を利用した朝のサーバー稼働チェックを1つのリストに集約

導入前



監視対象のサーバー台数分メールが届くため
見落としリスクやチェック工数が発生。

導入後



監視対象サーバーの稼働状況をリスト化。
リストを確認するだけで対象サーバーのチェックが完了。

※ 朝監視リストをご利用いただくには別途設定が必要です。詳しくは営業担当、または[お問い合わせフォーム](#)からご相談ください。

アラートフィルター導入支援

アラートフィルターの導入から朝監視リストの自動生成までの導入パックをご用意。



製品名	内容	定価
アラートフィルター導入支援パック(朝監視リスト付き)	<ul style="list-style-type: none">・アラートフィルターのインストール作業・朝監視リスト自動生成プログラムの提供及び設定・トレーニング(1h、フィルター&朝監視リスト)・設定手順書の提供 <small>※リモート対応のみ(訪問の場合は別途、交通費が発生します)</small>	¥250,000-

※ アラートフィルターを導入する環境にはBOM for Windowsが1ライセンスが必要です。

※ 朝監視リスト自動生成プログラムの年間保守費用(定価¥120,000-)が発生します。

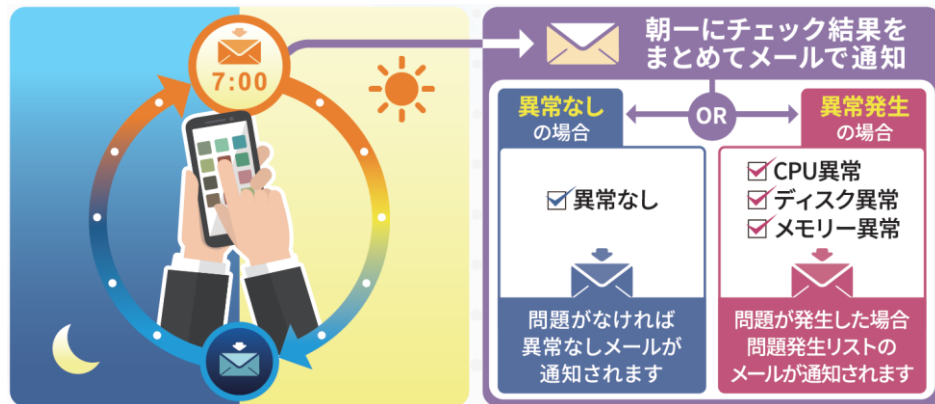
BOM 8.0 SR1 強化ポイント一覧

- 新たな環境に対応
 - Red Hat Enterprise Linux 9.x (9.0 ~ 9.2)
 - VMware vSphere 8.0、VMware ESXi 8.0
 - Microsoft SQL Server 2022
- アラートフィルターを同梱
- 代理監視チェックツールを同梱
- 公開済み監視テンプレートを同梱
 1. Trend Micro ビジネスセキュリティ 10.0 サーバー監視テンプレート
 2. Trend Micro ビジネスセキュリティ 10.0 クライアント監視テンプレート
 3. Trellix Endpoint Security 10.7 監視テンプレート
 4. ESET_PROTECT 監視テンプレート
 5. Trend Micro Apex One 監視テンプレート
 6. Acronis Cyber Protect 15 監視テンプレート
 7. NEC ESMPRO ServerAgent Service 1.0-1.3 監視テンプレート
 8. Fujitsu ServerView Agents v8_v9 監視テンプレート
 9. Hitachi JP1 Server Conductor Blade Server Manager V10 監視テンプレート
 10. MylogStar 4 Enterprise - MylogStar Server 監視テンプレート
 11. MylogStar 4 Enterprise - MylogStar Agent 監視テンプレート

その他の仕様変更・機能改善や脆弱性対応などの詳細は (SR1紹介ページ)をご確認ください。

朝監視レポート

朝一番のシステムチェックを代行する「朝監視」を強化。従来のメール通知に加えて、「朝監視結果レポート」を作成。



朝監視レポート

データ取得日時: 2024/02/27 07:00:11

◆ 全般

BOMインスタンスID	SAY-SAMPLE
-------------	------------

◆ ドライブ状態

ドライブ名	C:	使用率	92%
ファイルシステム	NTFS		
空き容量	3.07GB		
総容量	39.49GB		

◆ サービス状態

監視ID	監視名	サービス名	最終監視実行日時
GRPSJMON01	Server 監視	serverserver	2024/02/27 6:59:31
GRPSJMON02	Remote Storage Call 監視	Rpsdls	2024/02/27 6:59:31
GRPSJMON03	Windows Management Instrumentation 監視	winsmgmt	2024/02/27 6:59:31

◆ 直近12時間分のイベントログ (警告以上) : System

日時	レベル	ソース	ID	メッセージ
2024/02/27 06:40:34	エラー	Service Control Manager	7001	Windows Defender Network Inspection Service サービスは、このコンピューターで開始できなかった。 Windows Defender Network Inspection System Driver サービスに依存しています。このサービスを開始できませんでした。

◆ 直近12時間分のイベントログ (警告以上) : Application

日時	レベル	ソース	ID	メッセージ
2024/02/27 06:57:42	警告	BombAction	3301	監視項目: サブプロセス監視 は 通常 ステータス を検出しました。 監視コンポーネント: SAY-SAMPLE 監視システム: SAY-SAMPLE 監視プログラム: GRPSJMON01 システム監視 監視項目: GRPSJMON02 ネットワーク監視 実行日時: 2024/02/27 6:57:31 +0900 実行場所: C:\Windows\System32\cmd.exe 監視値: 100%

◆ 直近12時間分のBOM監視ログ (警告以上) : サービス

日時	レベル	メッセージ
2024/02/27 6:59:07	警告	前回の監視が完了していないため、監視 システムの監視 はスキップされました。
2024/02/27 6:59:04	警告	前回の監視が完了していないため、監視 システムの監視 はスキップされました。
2024/02/27 6:57:52	エラー	BOM Archive Service サービスが正常に終了しました。
2024/02/27 6:57:52	エラー	BOM Archive Service(BombAction) [D:\NETUTILS\ConnectionOpen (Connect)] SQL Server が存在しないか、アクセスが拒否されました。 Code: 0x80040005。エラーを特定できません。
2024/02/27 6:57:52	エラー	BOM Archive Service サービスが正常に終了しました。
2024/02/27 6:57:40	警告	前回の監視が完了していないため、監視 システムの監視 はスキップされました。
2024/02/27 6:57:37	警告	前回の監視が完了していないため、監視 システムの監視 はスキップされました。
2024/02/27 6:57:34	警告	前回の監視が完了していないため、監視 システムの監視 はスキップされました。

ディスクの使用状況やサービスの稼働状況だけでなく、イベントログやBOMヒストリログをレポート化。

03. 機能紹介

自立分散型サーバー監視ソフト

BOM
for Windows

Version 8.0

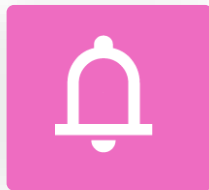
BOMの機能構成

BOMは多彩な機能のトリガーとなる「監視」を中心に4つの機能で構成されています。



監視

ハードウェアからネットワーク、OS、アプリケーション、レスポンスまで幅広く監視



通知

メール通知はもちろんのことSNMPトラップ送信や警告灯の点灯など多彩な通知が可能



リカバリー

サービスコントロールやシャットダウン等だけでなく監視の有効/無効も制御



アーカイブ

監視結果だけでなくBOMが実行した通知やリカバリーのログも蓄積可能

監視 - 主な監視機能

リソース監視 : 9種類

ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
フォルダー・ファイル監視	フォルダーやファイルの容量や数量を監視
プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
メモリ監視	メモリの空き容量を監視
ディスク処理待ち行列長監視	全物理ディスクに対する負荷状況を監視
ネットワークインターフェイス監視	物理ネットワークインターフェイスの帯域使用率を監視
ネットワークアダプター監視	チームINGNICを含む、ネットワークアダプターの帯域使用率を監視
プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視

リモート監視 : 2種類

Ping監視	Ping(ICMP ECHO)疎通監視
ポート監視	TCP/UDPポート疎通監視

稼働監視 : 2種類

サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
プロセスリスト監視	プロセス一覧を取得し、稼働状況を監視

ログ監視 : 3種類

イベントログ監視	イベントログを監視(除外指定/選択指定が可)
テキストログ監視	任意のテキストログファイルを監視視
BOMヒストリー監視	BOMのヒストリーログを監視

その他監視 : 14種類

インストールソフトウェア変更監視	Windows Update監視
AWS S3ストレージ容量監視	iLOログ監視
iRMCログ監視	HTTPアクセス応答監視
SNMP Get 監視	重複ファイル監視
未アクセスファイル監視	カスタム監視
RDSセッション監視 (セッション数取得)	RDSプロセス監視 (セッション数取得)
RDSセッション監視 (ユーザー/クライアントリスト取得)	RDSプロセス監視 (ユーザー/クライアント/セッションリスト取得)

その他にもOracle Database / SQL ServerといったデータベースやVMware / Hyper-Vといったハイパーバイザー、Linux OSの監視も可能。(一部オプション製品)

監視 - 監視テンプレート

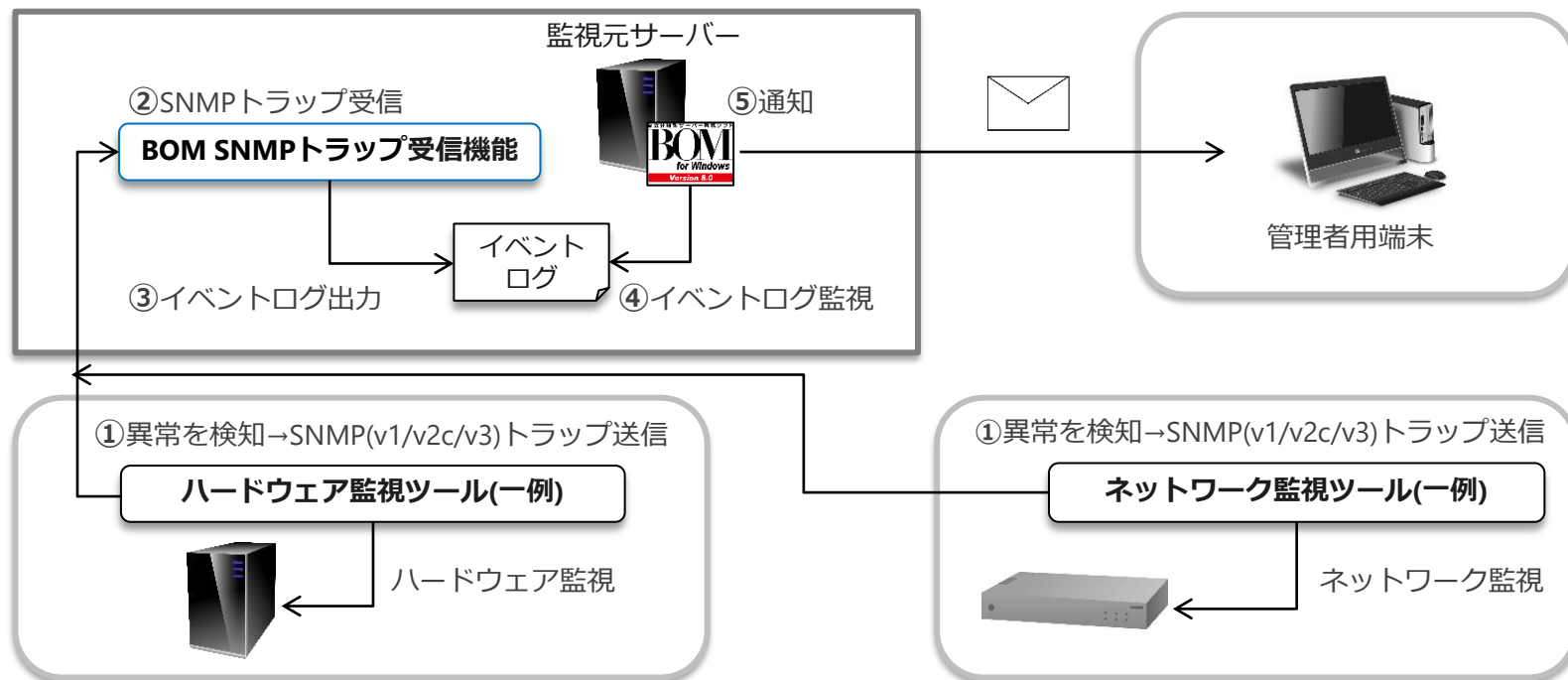
「監視テンプレート」を無償公開。
テンプレート自動検出機能により「そもそも何を監視すべきか？」といった悩みも解決。

監視テンプレート (抜粋)			
標準	Windows システム運用監視 Windows システム監視 Linux システム監視	システム安定運用 - セキュリティテンプレート システム安定運用 - パフォーマンス改善テンプレート 朝監視	
ログ	アプリケーションイベントログ システムイベントログ	Windows レポート向け監視項目 Linux レポート向け監視項目	セキュリティログ Linux テキストログ監視
ソフトウェア	ActiveImage Protector Arcserve Backup Exec Veritas System Recovery Windows Server Backup	Active Directory DNS Server DHCP Server MSFC Windows Server SQL Server	ESET Trend Micro Windows Defender Linux Apache Linux Samba
ハードウェア	NEC ESMPRO ServerManager NEC ESMPRO ServerAgent	JP1 Server Conductor Fujitsu ServerView Agents	HP System Management

監視テンプレートは随時追加しています。最新情報は[テンプレート一覧](#)をご確認ください。

監視 - SNMPトラップ受信機能

ネットワーク機器などから送信される SNMPトラップをBOMで監視可能。
受信したSNMPトラップはMIBでデコードの上、イベントログに出力後、監視。



通知 / リカバリ

主要な通知項目	
メール送信	SMTP形式のメール通知
SNMPトラップ送信	SNMP(v1/v2c/v3)形式のトラップ送信による通知
イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知
syslog送信	syslogサーバーへsyslog形式のメッセージを送信
カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知 *パトライト等の警告灯の点灯が可能

主要なリカバリ項目	
サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化制御
HTTPS送信	HTTPSプロトコルを使用したファイル/通知の送信
AWS S3ファイル送信	Amazon S3および、Amazon S3互換ストレージへ、任意のファイルを送信
RDSクライアント通知	接続中のクライアントに対して、通知メッセージを送信
RDSセッションログオフ	指定した条件に該当するステータスのセッションを強制的にログオフ
カスタムアクション	外部アプリケーションを利用した制御

その他にもVMwareホスト/ゲストのステータス制御、Linux上でのスクリプト実行/プロセスコントロールなどが可能。(一部オプション製品)

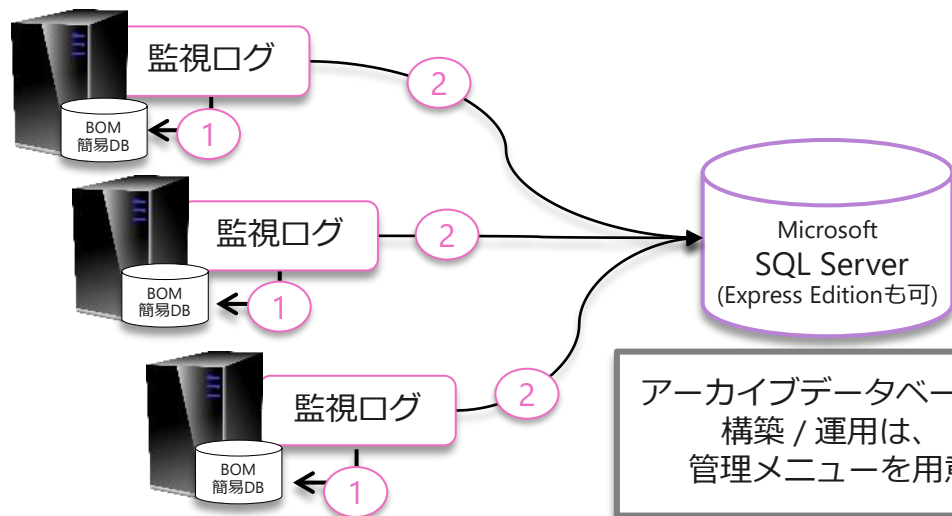
アーカイブ - ログの蓄積

監視項目ごとに15,000レコードまで監視ログをBOMに蓄積可能。
長期保存が必要な場合、Microsoft SQL Serverにアーカイブ可能。

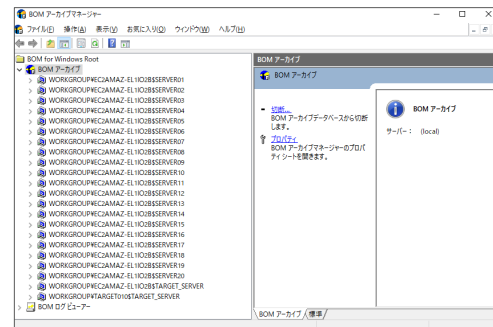
監視対象サーバー

アーカイブデータベース

アーカイブマネージャー



アーカイブデータベースの
構築 / 運用は、
管理メニューを用意

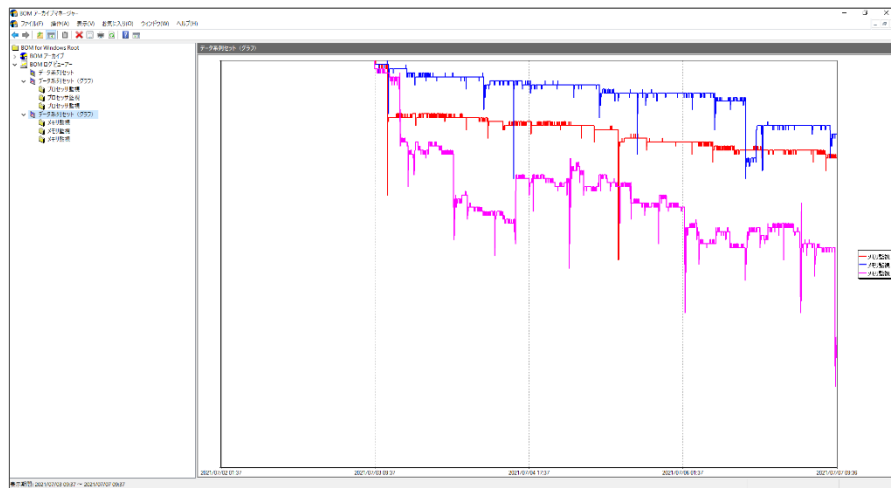
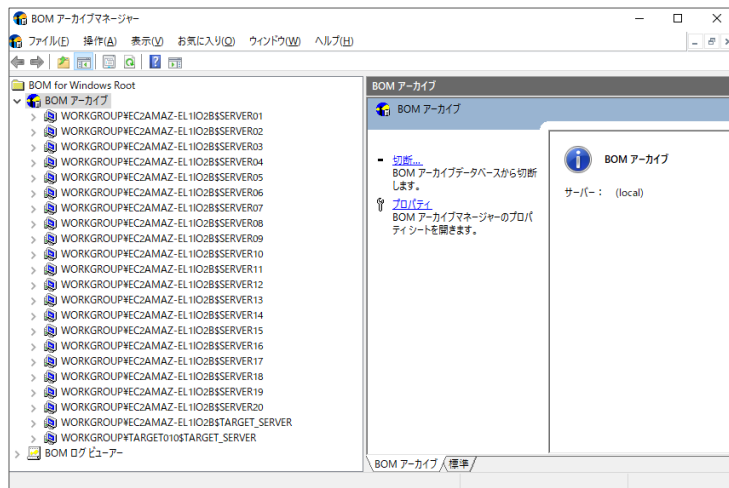


Microsoft SQL Serverに
格納したログは、専用の
ビューアーで確認

アーカイブ - アーカイブマネージャー

BOM アーカイブマネージャーでは、アーカイブデータベースに蓄積された監視データログを監視項目ごとにリストで表示することや複数の監視項目のデータグラフを重ね合わせて表示可能。

無償版SQL Server Express Edition との組み合わせで監視データを簡単グラフ化



利用可能なデータベースの動作要件は[アーカイブデータベース動作要件](#)をご確認ください。

アーカイブ-レポート出力 (オプション製品)

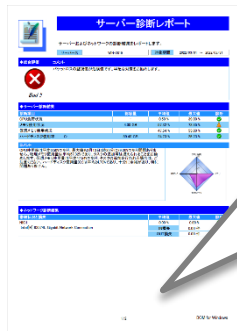
集計・自動分析するレポート出力。保守報告書としての活用可能。
Windowsだけではなく、LinuxやVMwareのレポートシートもご用意。

レポートは21種類レポートシートの中から選択して出力可能

レポートシート一覧		
サーバー診断レポート	プロセス詳細情報	全インスタンス概要
過去比較情報	ディスククォータ情報	ArcserveUDPV6ログリスト
詳細グラフ情報	アプリケーションログ情報	Hyper-V仮想環境レポート
システム基本情報	システムログ情報	VMwareサーバー診断レポート
ハードウェア情報	セキュリティログ情報	VMwareシステム基本情報
ソフトウェア情報	セキュリティログ詳細	VMware詳細グラフ情報
ハードウェア・ソフトウェア差分情報	テキストログ情報	VMwareログ情報

アーカイブ-レポートサンプル (オプション製品)

サーバー診断レポート



【自動分析のコメント例】

CPU使用率は平均84.87%であり、
最大値も8月9日9時31分に99.00%です。
早急な上位機種へアップグレードをお勧めします。

ディスク使用量(C:)は平均3.21%であり、
十分に余裕があり、特に問題ありません。

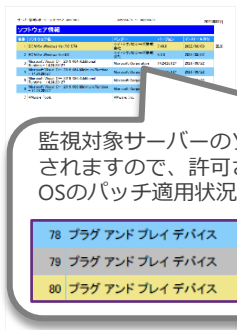
過去比較情報



【過去比較情報】

- サーバー診断結果
CPU負荷、メモリ状況、仮想メモリ状況、
HDD状況、HDD使用率
- ネットワーク診断結果(NICごと)
IN使用率、OUT使用率
IN損失件数、OUT損失件数

ソフトウェア情報



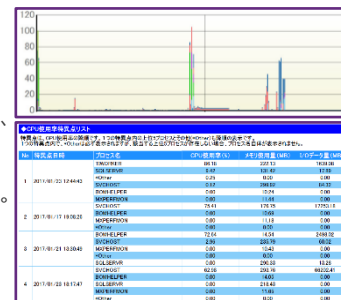
監視対象サーバーのソフトウェアの「追加」・「削除」状況がピックアップ
されますので、許可されていないアプリケーションのインストール監査や、
OSのパッチ適用状況などを把握することができます。

78	プラグアンドプレイデバイス	Volume Manager		
79	プラグアンドプレイデバイス	WebEx Document Loader (リダイレ クト2) (リダイレクト2)	Local Print Queue	削除
80	プラグアンドプレイデバイス	ボリューム	PVDISK	追加

プロセス詳細情報



レポート出力期間の
特異タイミングを検出、
各プロセスのリソース
使用状況を抽出して
レポートに出力します。



04. オプション製品

自立分散型サーバー監視ソフト

BOM
for Windows

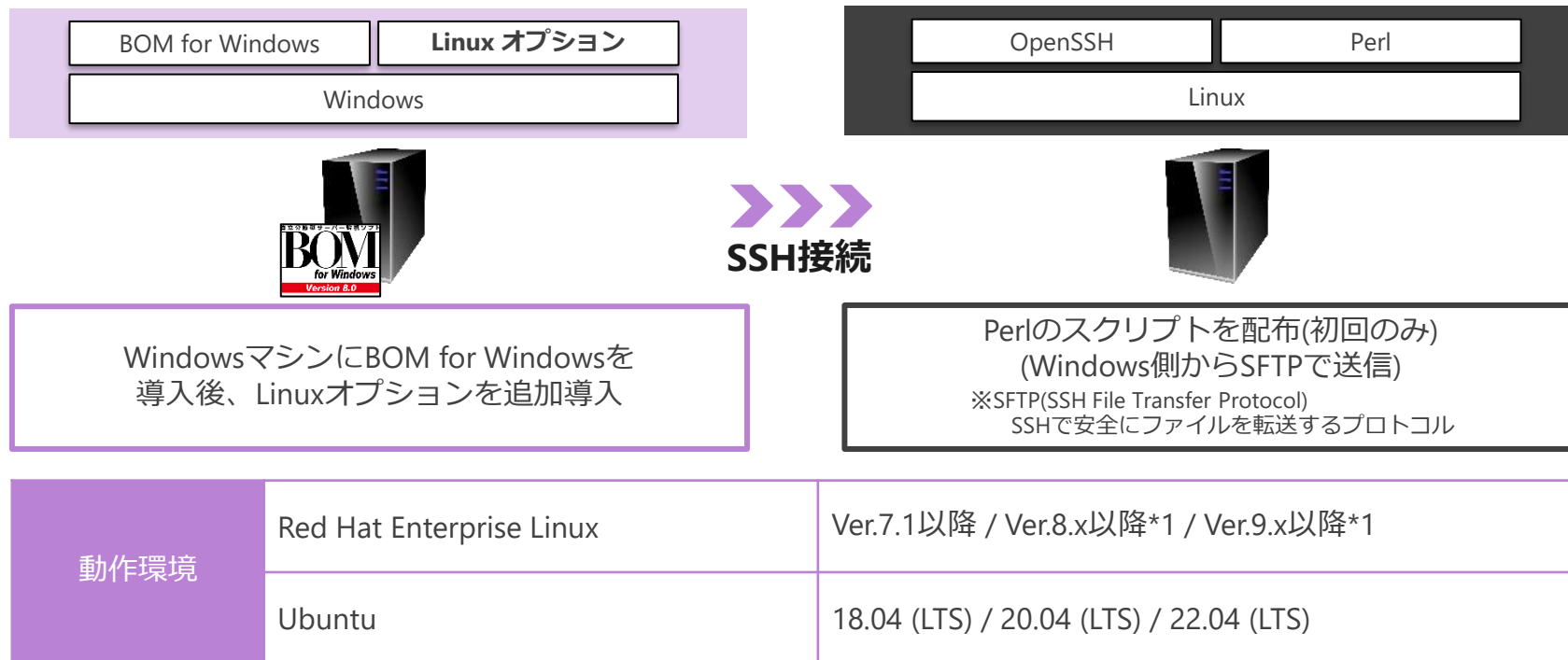
Version 8.0

オプション製品の機能概要

Linux	追加される機能	監視	① ディスク容量監視 ② ディレクトリ・ファイル監視 ③ サービスポート監視 ④ プロセッサ監視 ⑤ メモリ監視 ⑥ ディスクアクセス監視 ⑦ プロセス監視 ⑧ プロセス数監視 ⑨ テキストログ監視 ⑩ ネットワークインターフェイス監視 ⑪ スクリプト監視
		通知・リカバリー	① SYSLOG書き込み ② プロセスコントロール ③ シャットダウン ④ スクリプト実行
Oracle	追加される機能	監視	① 表領域の使用量・使用率監視 ② 同時セッション数監視 ③ 表領域の最大空き容量監視 ④ エクスデント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
SQL Server	追加される機能	監視	① データベースの使用量・使用率監視 ② 同時セッション数監視 ③ データベースの最大空き容量監視 ④ エクスデント増分回数監視 ⑤ ストアドファンクションの実行
VMware	追加される機能	監視	① ストレージ空き容量監視 ② パフォーマンスカウンタ監視 ③ ステータス監視 ④ 仮想マシン数監視 ⑤ VMwareイベント監視 ⑥ VMwareタスク監視 ⑦ VMwareビューアデータ収集
		リカバリー	① VMwareステータスコントロール (ホスト/ゲスト)
Report	追加される機能	レポート	① サーバー診断レポートや過去比較情報等21種類から選べるレポート出力

構成例 - Linux オプション

Windowsサーバーに導入したBOMから、SSH経由でLinuxサーバーを監視
WindowsサーバーのBOMからGUIを利用して操作を行うため、Linuxは意識不要



*1: マイナーアップデートの最新はセイ・テクノロジーズホームページの[動作環境と要件](#)をご確認ください。

構成例 - Oracle オプション

Oracleデータベースサービスに接続してOracle表領域などを監視

Oracleを使用するアプリケーション目線で、Oracleデータベースの監視が可能

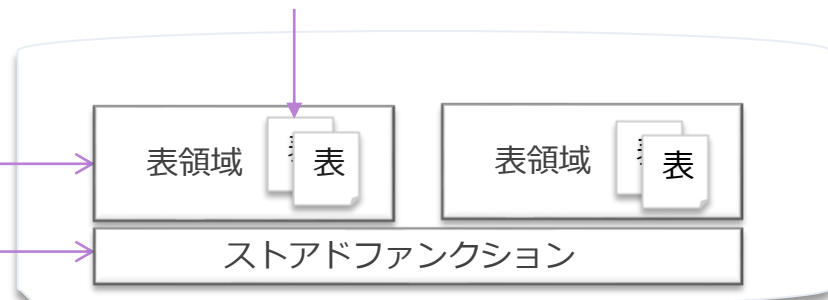
- エクステント増分回数監視

- 表領域 使用容量 / 使用率監視

- 表領域 最大空き容量監視

- 同時セッション数監視

- ストアドファンクション実行結果監視



BOM for Windows	Oracle オプション
Windows	



以下の項目は監視テンプレートで監視可能

● サービス ● イベントログ ● パフォーマンスカウンター

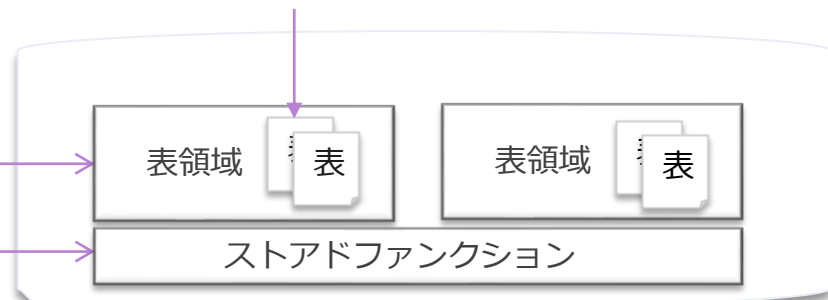
動作環境	Oracle Database 21c	Windows x64
	Oracle Database 19c	Windows x64

構成例 - SQL Server オプション

ODBCドライバー経由でSQL Server サービスに接続してデータベースなどを監視
SQL Serverを使用するアプリケーション目線で、SQL Serverの監視が可能

● エクステンション増分回数監視

- データベース 使用容量 / 使用率監視
- データベース 最大空き容量監視
- 同時セッション数監視
- ストアドファンクション実行結果監視



BOM for Windows	SQL Server オプション
Windows	

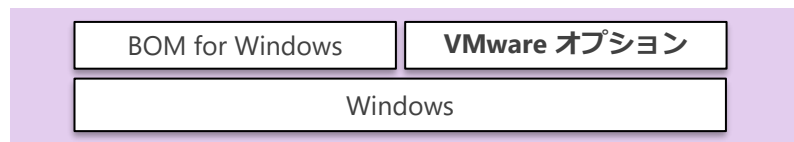


以下の項目は監視テンプレートで監視可能
●サービス●イベントログ●パフォーマンスカウンター

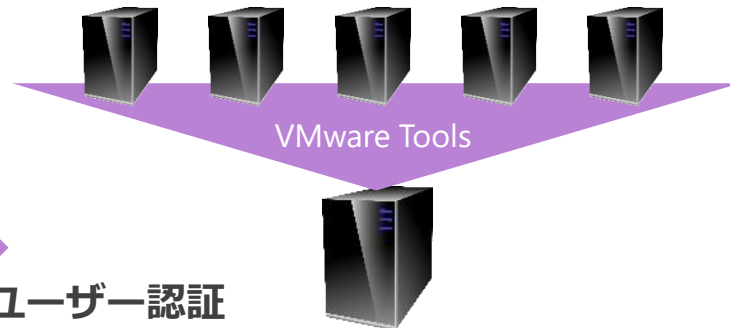
動作環境	SQL Server 2022 各エディション	SPなし
	SQL Server 2019 各エディション	SPなし
	SQL Server 2017 各エディション	SPなし
	SQL Server 2016 各エディション	Service Pack 3
	SQL Server 2014 各エディション	Service Pack 3

構成例 - VMware オプション

ESXホスト(一部監視項目はvCenter)に接続して、ホストとゲストを監視
監視結果と連動して、ホストやゲストのステータスを制御可能(パワーオン/パワーオフなど)



ESXホストに対してユーザー認証



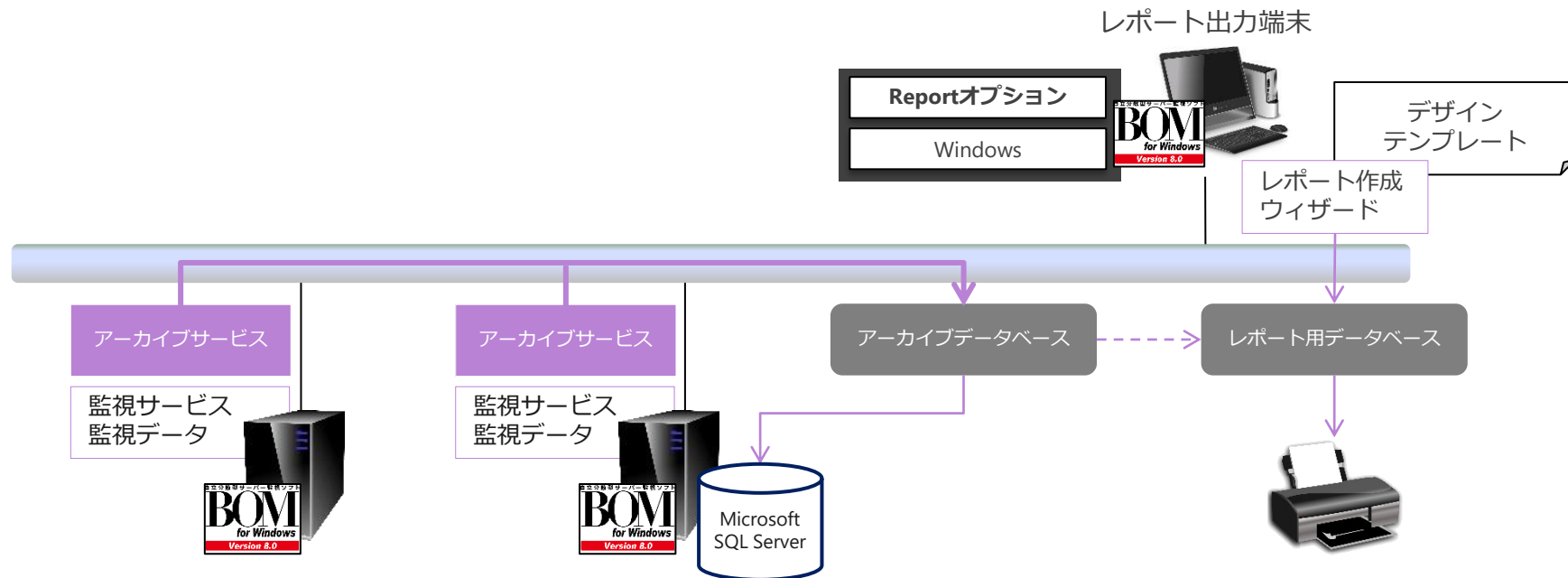
WindowsマシンにBOM for Windowsを導入後、VMwareオプションを追加導入

ホストだけでなく、ゲストのリソースも監視可能
(ゲストの情報はVMware Tools経由で取得)

動作環境	VMware ESXi	6.7 / 7.0 / 8.0
	VMware vSphere	6.7 / 7.0 / 8.0

構成例 - Report オプション

BOMアーカイブデータベースに蓄積した監視ログを集計・分析し、レポート出力可能
レポートはデザインテンプレートの中から選択して出力可能
レポートはExcel形式でも出力できるため、レポートの過不足を修正の上、提出可能



05. 導入について

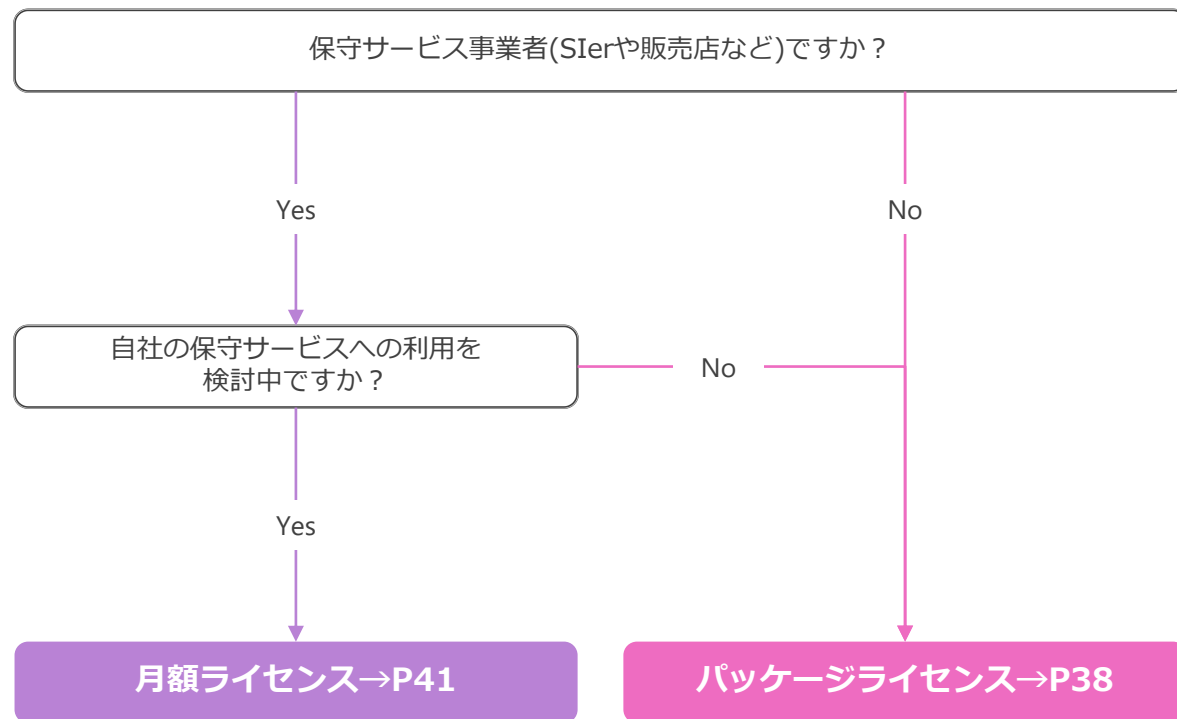
自立分散型サーバー監視ソフト

BOM
for Windows

Version 8.0

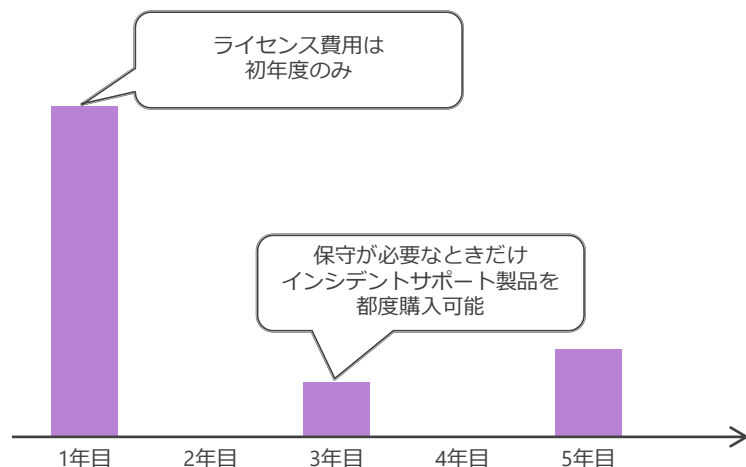
2つのライセンス体系

BOM for Windowsは、立場や目的にあわせて2つのライセンス体系をご用意。



パッケージライセンス：ライセンスを『所有』

保守サービス事業者がシステム運用サービスを立ち上げやすい「月額ライセンス」と買い切りの「パッケージライセンス」をご用意



▶ ライセンスは買い切り

買い切りのため、永続的に利用可能。

SRを含む機能拡張モジュールや修正モジュールは無償で適用可能。

▶ 年間保守不要

インシデントサポート制のため、2年目以降の維持コストを最小限に抑えることが可能。

▶ バージョンアップ費用も低コスト

バージョンアップ費用が発生するのは、メジャーバージョンアップのみ。
専用のバージョンアップライセンスを購入するだけ。

パッケージライセンス：製品価格

型番	JANコード	品名 及び 摘要	標準価格(税抜)
基本パッケージ			
B80-SV-1P	4582102404000	BOM for Windows Ver.8.0 基本パッケージ (1ライセンス、5インシデント付)	¥148,000
追加ライセンス			
B80-SV-1L	4582102404017	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加1ライセンス	¥130,000
B80-SV-10L	4582102404024	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加10ライセンス	¥900,000
B80-SV-50L	4582102404031	BOM for Windows Ver.8.0 サーバー追加50ライセンス	¥3,750,000
仮想用ゲストOS追加ライセンス			
B80-SV-1VL	4582102404116	BOM for Windows Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
BLI-80-1VL	4582102404123	BOM Linux オプション Ver.8.0 ゲストOS用追加1ライセンス	¥70,000
B80-SV-50VL	4582102404130	BOM Ver.8.0 ゲストOS用追加50ライセンス(Windows/Linux)	¥1,500,000
オプション			
BOR-80-1L	4582102404048	BOM Oracle オプション Ver.8.0	¥118,000
BSQ-80-1L	4582102404109	BOM SQL Server オプション Ver.8.0	¥118,000
BLI-80-1L	4582102404062	BOM Linux オプション Ver.8.0	¥118,000
BVM-80-1L	4582102404093	BOM VMware オプション Ver.8.0	¥118,000
BRP-80-1L	4582102404086	BOM Report オプション Ver.8.0	¥98,000
BCL-80-1L	4582102404222	BOM ゲストCL オプション Ver.8.0	¥118,000
バージョンアップ			
B80-SV-UP	4582102404147	旧Ver.パッケージからVer.8.0へのバージョンアップ(基本パッケージ)	¥30,000
B80-SV-LUP	4582102404154	旧ライセンスからVer.8.0へのバージョンアップ(1ライセンス)	¥20,000
インシデントサポート			
BOM-SP-5I	4582102390655	BOM 5インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥100,000
BOM-SP-10I	4582102390662	BOM 10インシデントサポート(6ヶ月有効)	¥180,000
BOM-SP-20I	4582102390679	BOM 20インシデントサポート(1年間有効)	¥300,000
レポート自動出力ツール			
J16-SV-1P	4582102403607	Job Director R16 基本パッケージ	¥148,000

パッケージライセンス：メーカーサポート

年間保守契約不要の「インシデントサポート制」を採用
修正モジュールや機能拡張モジュールは無償提供

ユーザー登録

Step.1

製品購入後、2週間以内にユーザー登録を実施してください。ユーザーIDを発行します。

[ユーザー登録のご案内・登録フォーム](#)

お問い合わせ

Step.2

ユーザーIDと有効なインシデントIDを記載の上、サポート窓口までご連絡ください。

[テクニカルサポートへのお問い合わせ](#)

サポート対応

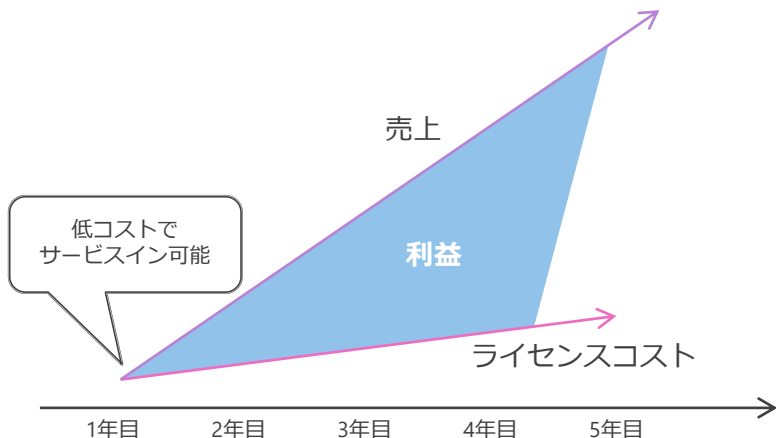
Step.3

セイ・テクノロジーズ サポート担当者よりご回答いたします。お問い合わせクローズ後にインシデントを消費します。

セイ・テクノロジーズ製品の脆弱性情報の一覧は[こちら](#)からご確認できます。

月額ライセンス：ライセンスを『利用』

保守サービス事業者がシステム運用サービスを立ち上げやすい「月額ライセンス」と買い切りの「パッケージライセンス」をご用意



■ ライセンスコストは使った分だけ

ライセンスコストを毎月のサービス売上から支払えるため、安定的にサービスを提供可能。

■ エンドユーザーへ導入しやすい

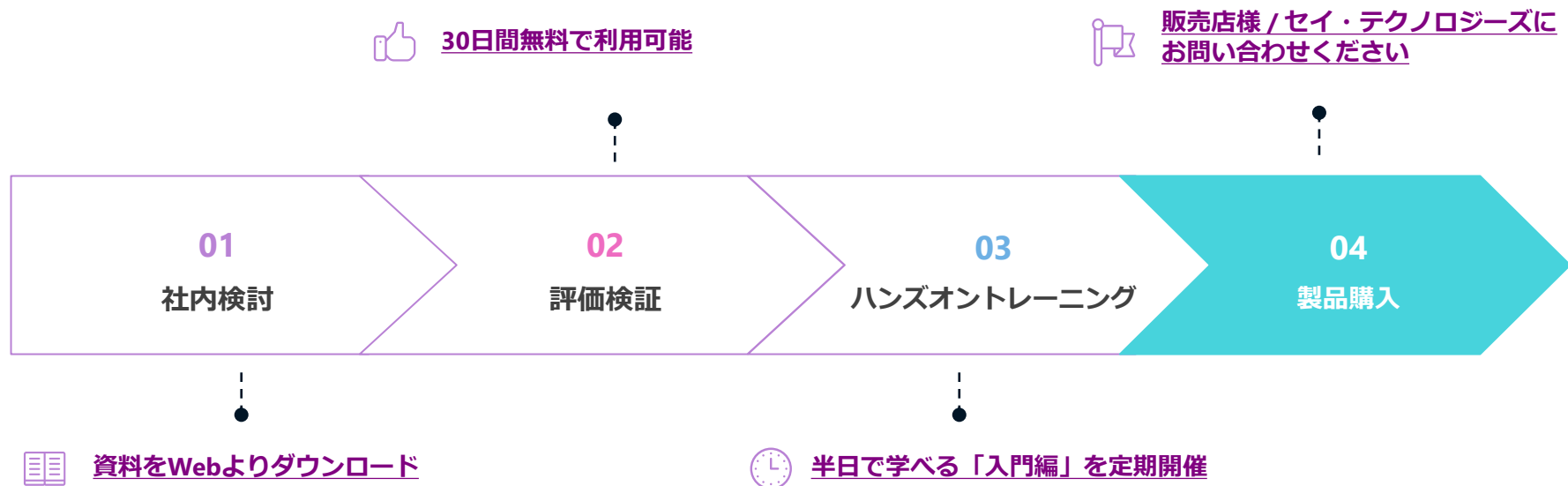
エンドユーザーへの導入時に初期費用が発生しないため、提案・導入しやすいライセンス体系です。

■ 発生するのはライセンスコストだけ

ライセンスコストにテクニカルサポート費用やバージョンアップライセンス費用も含まれています。

※ 月額ライセンスは、エンドユーザーにシステム運用サービスを提供するSierなどの保守サービス事業者のみご利用できます。

BOM選定までのステップ例



06. 活用例・導入事例

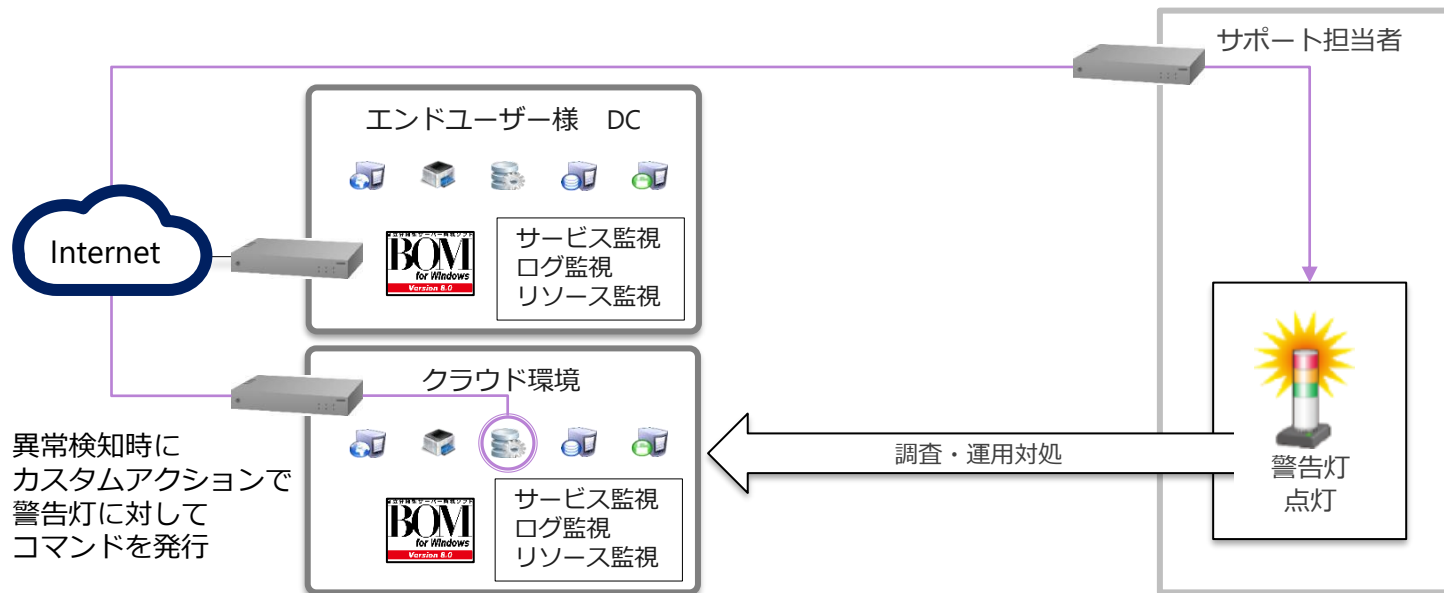
自立分散型サーバー監視ソフト

BOM
for Windows

Version 8.0

BOMの活用例 - 警告灯連携

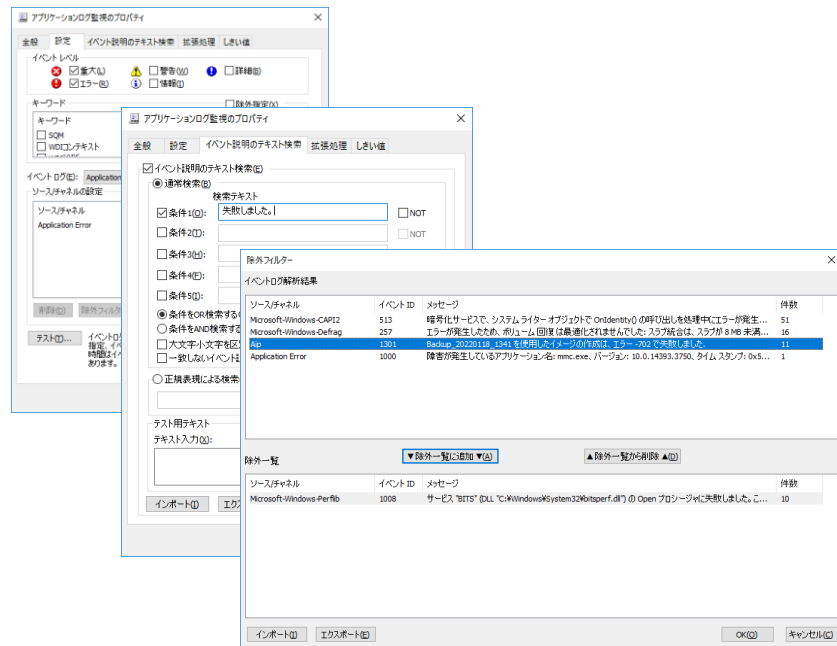
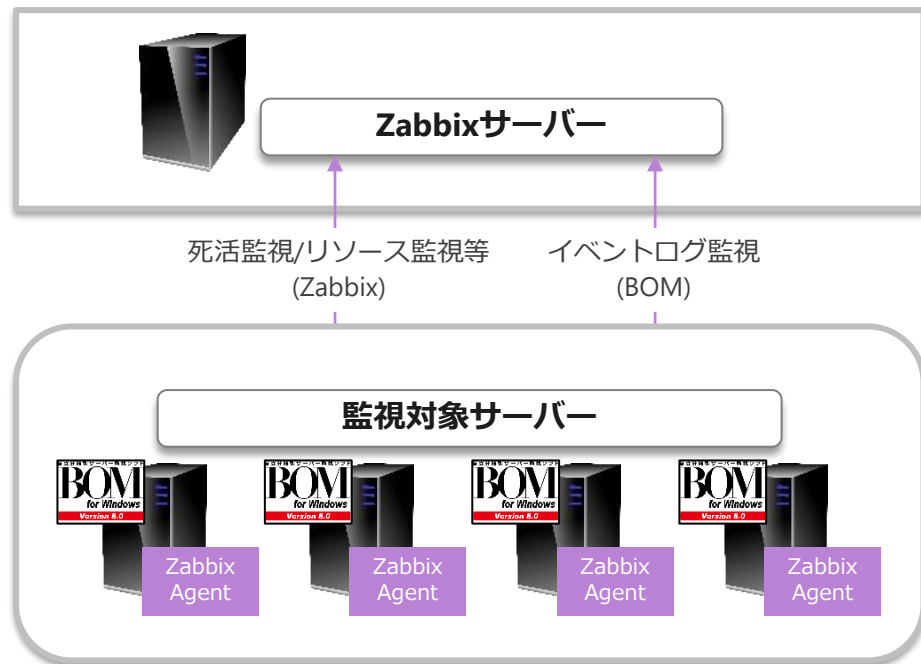
BOMによる異常検知時に、各種警告灯の点滅が可能
警告灯との連携により、障害を可視化



株式会社パトライト社のパトライトとの連携方法 ※FAQサイト内※
株式会社アイエスエイ社の警子ちゃんとの連携方法 ※FAQサイト内※

BOMの活用例 - Zabbix連携

監視対象と除外対象を正規表現やトリガー条件式で表現しなければならないイベントログ監視をBOMで実行し、Zabbixに連携可能

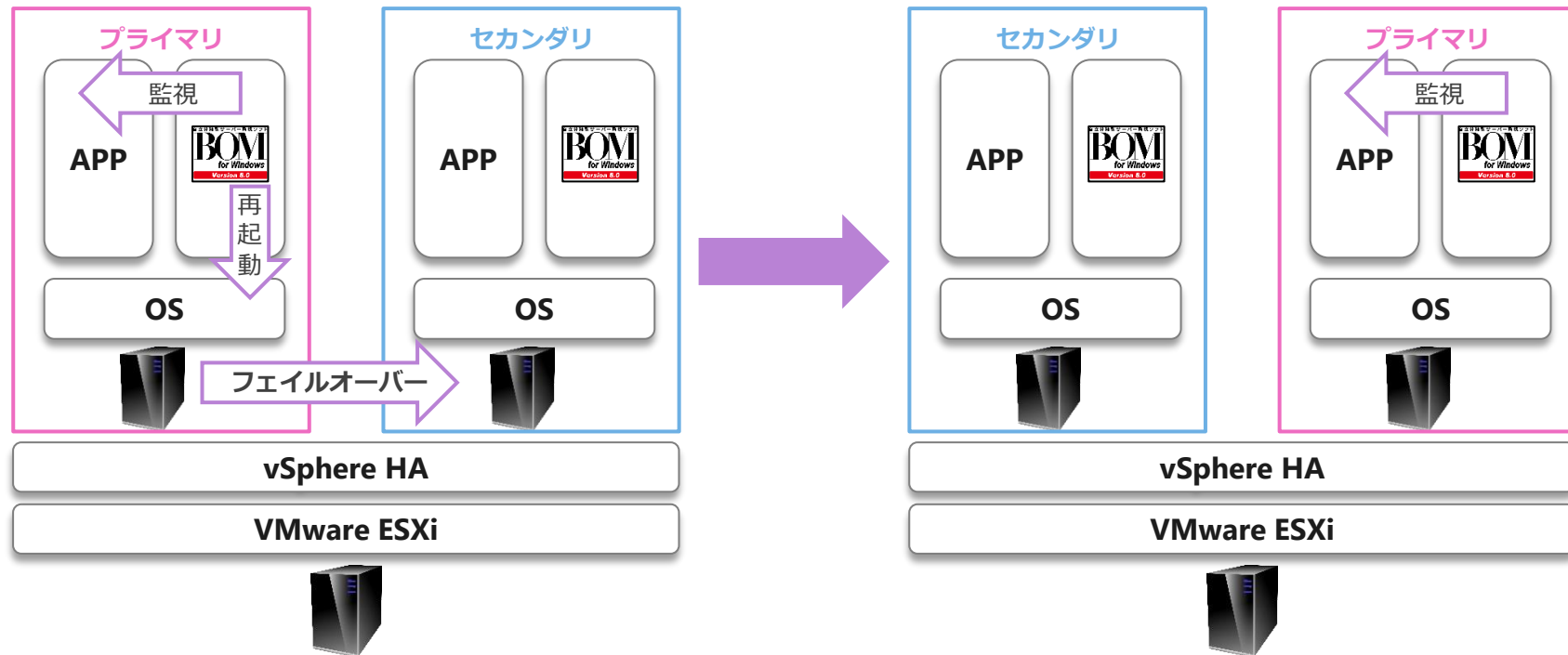


対象指定やログ内のテキスト指定、除外指定もGUIで完結

BOMの活用例 - アプリケーション正常稼働

重要性の高いシステムはクラスター構成で冗長化されているが、アプリケーションの異常が検知できなくとも、正常確認が確認できなければリカバリー対応が必要

構成例：vSphere HAの場合





セイ・テクノロジーズ 株式会社

<https://www.say-tech.co.jp>

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階

TEL：03-5803-2461 FAX：03-5803-2463

e-mail：sales@say-tech.co.jp



Find us on Facebook

<http://www.facebook.com/SayTech.Japan>